

somewhat rounded at the cephalic end, and 12 mm. long by 3 mm. wide. On Oct. 1, a female adult emerged from it and died on Oct. 4. The host *Araneus* was about 7 mm. long.

英彦山に於ける蟻の垂直分布

(英彦山昆蟲雑記—XLVII)

安 松 京 三

英彦山は海拔約 2000 米で高山の部には屬さない。私は英彦山に登る度毎に蟻の垂直分布に留意して來たが、英彦山の様な山でもよく注意すると、蟻の分布には興味深いものがある。私の調べは完成してゐないが貞の餘白を利用して若手の種類に就いて豫報しておきたい。

1. *Pheidole nodus* オホツアカアリは山麓附近にも全く見られず、英彦山の *Pheidole* はすべて *Pheidole servida* アグマオホツアカアリのみである。
 2. *Monomorium nipponeense* ヒメアリは海拔 500 米の邊まで發見出来る。
 3. *Myrmecina graminicola nipponica* 本種は山頂まで分布してゐるが採集した下限の地は海拔 600 米である。
 4. *Myrmica* sp. 九州産のクシケアリは未だその學名を決定し得ないで居るが、海拔 700 米以下の地では殆んど發見出来ない。海拔 1000 米以上では極めて普通である。
 5. *Camponotus herculeanus ligniperda obscuripes?* 所謂ムネアカオホアリは英彦山では勿論山頂まで發見出来るのであるが、すべて本州産のものと前胸部の色彩を異にするものである。
 6. *Camponotus devestivus* アメイロオホアリは私の調査によれば海拔 700 米以上には發見出来ない。
 7. *Polyrhachis lamellidens* トゲアリは英彦山に於ては海拔 650 米以上の地には發見出来ず、且非常に少い。
 8. *Lasius niger brunneus* は大體海拔 500 米以上の地に分布して居り、低地には發見出来ない。
 9. *Iridomyrmex itoi* ルリアリは英彦山の山麓落合の部落附近に見られるのみである。
- 以上僅か 9 種類のみを掲げたが、英彦山に登山をして特にそれらの注意すべき蟻は *Myrmica* クシケアリの 1 種、*Myrmecina graminicola nipponica*、*Lasius niger brunneus* 及び先般私が紹介した *Camponotus herculeanus vagus yessensis* ケブカオホアリの 4 種であらう。